

委員会レポート（常任委員会・所管事務調査）

◎民生常任委員会

【所管事務調査】

・令和元年7月25日

①幼児教育・保育の無償化の概要について

本年10月から始まる無償化の概要について説明を受けました。委員からは、無償化の対象となる認可外保育施設の保育の質や安全性の確保に対する町の関わりなどについて意見が出されました。

・令和元年8月22日

①防災行政無線について

災害時における役場から住民への情報伝達手段、過去の災害時の検証と課題、防災行政無線の必要性などについて説明を受けました。委員からは、屋外拡声器の設置数、戸別受信機の配備対象世帯、整備に要する財源などの質問や、この無線を活用した行政情報の発信について意見が出されました。



戸別受信機（例）

◎産業建設常任委員会

【所管事務調査】

・令和元年7月24日

①忠類育苗センターについて

幕別町森林組合に運営委託し、主に道有林で使用するトドマツの苗木を生産して売却する同センターを現地視察し、収支状況や出荷の見込みなどから、今後は事業廃止に向けた検討を進めていくとの説明を受けました。委員からは、事業廃止した場合の影響などについて意見が出されました。



忠類育苗センター現地視察

◎総務文教常任委員会

【所管事務調査】

調査内容は、特集「常任委員会クローズアップ」（20ページ）に掲載しています。

幕別高等学校
高校生講座を開催

7月23日、幕別高等学校3年生の皆さんを対象に高校生講座を開催しました。後藤大輝さんが指名推薦により議長となり始まった模擬議会（高校生議会）は、「輝くまちまぐべつを目指して」を協議テーマに、3つの委員会に分かれて議員との意見交換を行いました。地域間交流の活性化、災害時の安心・安全、地場産業の発展など、本町の現状や課題を事前に詳しく調査してまとめた提言書では、幕別・札内・忠類の三地域対抗イベントの提案など、まちづくりに貴重な提案がありました。



幕別高等学校の皆さんと議場で記念撮影

議会広報研修会に参加

8月20日、北海道町村議会議長会主催による議会広報研修会が、札幌市（ポールスター札幌）で開催されました。

「月刊総務」の編集長、豊田健一氏を講師に『読者目線で親切な広報紙を作るには？手に取られ、読まれ、行動に結びつけるには？』と題して講義が行われました。議会広報紙は、まず住民が手に取って読んでもらえなければ何の意味もないと力説され、議会で決まった条例や予算などが、自分たちの生活にどう影響するのか、つながりを感じさせる紙面づくりが大切と話されました。住民と議会の架け橋となる議会広報紙を一層充実させていく重要性について学びました。



議会広報研修会（札幌市）